



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファイブ株式会社
 コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 英理也
 (氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	513	11.0	0	△87.3	△0	—	△2	—
25年5月期第2四半期	462	4.7	1	—	0	—	△0	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 △2百万円 (—%) 25年5月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	△3.22	—
25年5月期第2四半期	△0.40	—

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	434	265	60.9	312.11
25年5月期	429	267	62.2	315.24

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 264百万円 25年5月期 267百万円

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,002	4.2	21	△0.3	21	△0.2	18	4.8	21.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	893,600 株	25年5月期	893,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	46,000 株	25年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	847,600 株	25年5月期2Q	847,600 株

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による積極的な経済・金融政策により輸出関連産業を中心に業績の回復傾向が見られました。雇用情勢についても、業績の回復に伴う求人数の増加により改善傾向にあります。また、2020年の東京オリンピック誘致が決定したことも明るい材料となりました。

当社グループの属する情報サービス業界は、ITサービスのクラウド化やスマートフォン・タブレットの情報端末の業務活用などIT投資に対するコスト削減の動きは続いているものの、経済・金融政策の効果が現れている業種・企業も増加しており、今後も緩やかな回復基調が継続するものと考えております。

このような環境の中、ソリューション事業B to Bソリューショングループは、福岡地区・東京地区の主要な取引企業を中心にITエンジニアの引き合いが増え、ITエンジニアの稼働率が高い水準で推移いたしました。また、高度IT人材の人手不足が続くなか、一人月当たりの平均単価も上昇傾向で推移したため売上高が増加いたしました。なお、リーダークラスのITエンジニアの採用を積極的に行ったことにより販売費及び一般管理費が増加しております。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、ITエンジニアの稼働率の向上に加え、引き続き提案営業の強化を進めました。スクール事業は、本社において九州・福岡の若者を中心に当社独自のITエンジニア育成研修を継続して行い、ITエンジニアの正社員化を進め、各事業の拡大に向けて人材の輩出が進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高513,666千円（前年同四半期は462,780千円）、売上総利益180,942千円（同161,792千円）、営業利益138千円（同1,095千円）、経常損失47千円（前年同四半期は経常利益786千円）、四半期純損失2,728千円（前年同四半期は342千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループにおいては、稼働者数131名からスタートし、当第2四半期連結累計期間末においては稼働者数が137名となりました。福岡地区の開発フェーズの案件が増えていることに加え、当社独自のITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）から輩出された人材が活用できる場が増え、稼働者数が増加いたしました。また、人材不足を背景に高度IT人材の一人月当たりの平均単価も上昇傾向にあり、売上高が増加しております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は435,627千円（前年同四半期は393,156千円）、セグメント利益は92,901千円（同88,835千円）となりました。

②ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループにおいては、当第2四半期連結累計期間における売上高は横ばいで推移しておりますが、セグメント損失が発生しております。しかしながら、開発案件の提案件数・受注件数が増加していることに加え「OFFICE DOCTOR」やサーバーホスティングサービス「データ預かり隊!」のようなライトなサービスの受注が増加しており、新規顧客の開拓や当社のファン作りが進んでおります。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は24,543千円（同24,819千円）、セグメント損失は3,814千円（前年同四半期はセグメント利益216千円）となりました。

③スクール事業

スクール事業においては、継続的に当社独自のITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）に力を注いでおります。形式的には人材育成の投資になりますので損失が計上されておりますが、人材不足が叫ばれるITエンジニアの増加施策としての役割は大きいと考えております。なお、ITエンジニア育成研修を修了した人材の正社員登用も増加傾向にあります。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高はなく（前年同四半期は2,450千円）、セグメント損失は12,751千円（同8,316千円）となりました。

④工事関連事業

工事関連事業においては、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に安定的に受注できております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は53,821千円（同44,262千円）、セグメント利益は6,652千円（同3,443千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は434,372千円(前連結会計年度末は429,436千円)、うち流動資産368,614千円(同361,245千円)、固定資産65,758千円(同68,190千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金246,916千円(同224,747千円)、売掛金101,748千円(同116,146千円)等です。固定資産については有形固定資産12,771千円(同14,149千円)、無形固定資産4,240千円(同5,348千円)、敷金及び保証金25,917千円(同26,003千円)等です。

(負債)

負債合計は168,432千円(同162,241千円)、うち流動負債は135,061千円(同121,580千円)、固定負債は33,371千円(同40,660千円)となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金5,451千円(同5,618千円)、未払費用64,172千円(同53,939千円)等です。固定負債については長期借入金31,786千円(同39,118千円)等です。

(純資産)

純資産合計は265,940千円(同267,195千円)、うち株主資本256,209千円(同258,937千円)、その他の包括利益累計額8,334千円(同8,257千円)、少数株主持分1,395千円(前連結会計年度末はなし)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ダブルスキルを連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,747	246,916
売掛金	116,146	101,748
仕掛品	10,336	11,354
原材料及び貯蔵品	511	684
繰延税金資産	—	184
その他	9,995	8,121
貸倒引当金	△491	△395
流動資産合計	361,245	368,614
固定資産		
有形固定資産	14,149	12,771
無形固定資産	5,348	4,240
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,003	25,917
その他	22,689	22,829
投資その他の資産合計	48,693	48,746
固定資産合計	68,190	65,758
資産合計	429,436	434,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,618	5,451
1年内返済予定の長期借入金	14,664	14,664
未払費用	53,939	64,172
未払法人税等	4,132	4,134
未払消費税等	11,961	9,805
繰延税金負債	30	—
その他	31,235	36,833
流動負債合計	121,580	135,061
固定負債		
長期借入金	39,118	31,786
繰延税金負債	1,542	1,585
固定負債合計	40,660	33,371
負債合計	162,241	168,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,825	175,825
資本剰余金	141,525	141,525
利益剰余金	△49,588	△52,317
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	258,937	256,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,257	8,334
その他の包括利益累計額合計	8,257	8,334
少数株主持分	—	1,395
純資産合計	267,195	265,940
負債純資産合計	429,436	434,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	462,780	513,666
売上原価	300,988	332,723
売上総利益	161,792	180,942
販売費及び一般管理費	160,696	180,804
営業利益	1,095	138
営業外収益		
受取利息	4	7
未払配当金除斥益	—	145
雑収入	5	307
営業外収益合計	9	460
営業外費用		
支払利息	277	360
創立費償却	—	276
雑損失	41	9
営業外費用合計	318	646
経常利益又は経常損失(△)	786	△47
特別損失		
固定資産除却損	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	761	△47
法人税、住民税及び事業税	1,486	3,000
法人税等調整額	△382	△214
法人税等合計	1,103	2,785
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△342	△2,832
少数株主損失(△)	—	△104
四半期純損失(△)	△342	△2,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△342	△2,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,835	77
その他の包括利益合計	1,835	77
四半期包括利益	1,492	△2,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,492	△2,650
少数株主に係る四半期包括利益	—	△104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。